




## 1. 目的と経緯

各部等の連携による効果的な施策や事業の推進について協議・調整するため、令和3年5月24日の気候変動対策推進本部員会議において、3つのプロジェクトチームと7つのワーキンググループを設置。

## 2. 令和3年度の取組成果と方向性

	PTテーマ	WG検討事項	主な成果	今後の取組の方向性(主なもの)
ゼロカーボン推進PT	地域の特性を活かした再生可能エネルギー導入に向けた連携	再生可能エネルギーの導入をいかに推進するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー導入に資する情報の整理・共有</li> <li><b>再生可能エネルギー導入に資する事業や新エネルギー導入加速化基金事業を各部局で構築</b></li> </ul>  <p>有限会社ドリームセル提供 図 畜産バイオガスプラントの例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部連携したセミナー開催等の効果的な実施</li> <li>再生可能エネルギー由来の電気・熱の利活用拡大について検討</li> </ul>
	道産木材の活用と住宅のゼロエネルギー化	道産材を建材として活用、未利用材をエネルギー源として活用した北方型住宅ゼロカーボンモデルの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の地域特性を踏まえた<b>ZEHモデルを検討</b></li> <li>木材の製造・乾燥・運搬過程を含めた住宅のLCCO<sub>2</sub>と炭素固定量の試算</li> </ul>  <p>図 エリア別のZEHモデルの検討</p>  <p>図 南幌町みどり野モデル団地のイメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道産建築材を活用した北方型住宅ZEHのモデル的な取組を推進</li> <li>道産建築材の住宅への利用促進方策・需給のマッチングの展開</li> </ul>



継続

赤れんが脱炭素化推進PT

道有施設の脱炭素化	整備のあり方とZEBモデルの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>道有施設での初のZEB化に向け<b>北海道消防学校のZEB化予算を計上</b></li> <li>設計中の改築施設の脱炭素化を検討</li> </ul>  <p>図 北海道消防学校イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道有施設の脱炭素化に向けた方針を整理</li> <li>ZEB化の検討を加速するとともに、既存施設の脱炭素化を推進</li> </ul>
庁舎運用における更なるCO2削減、職員の行動変容	節電効果の高い施設管理手法の検討、節電のための職員行動変容の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>再エネ調達手法の実施に向けた仕様書等の整理</b></li> <li>次年度に実施する行動変容の取組を整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ由来電力の調達の試行及び事務手続きの展開</li> <li>行動変容の取組の試行結果を踏まえた更なる検討</li> </ul>
	次世代公用車の導入手法検討	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>カーシェアの試行</b></li> <li>導入拡大における基本的な考え方を検討</li> </ul>  <p>図 庁内カーシェアリング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車調達方法の試行・確立</li> <li>導入支援の取組の検討</li> </ul>

継続

適応推進PT

全道の研究・事業などに活用できる適応データベースの充実	道総研と連携した適応研究や情報のプラットフォームの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策や研究への適応の視点の組み込みの<b>連携体制を構築</b></li> <li>センターを窓口とした相談対応の連携体制を構築</li> </ul>  <p>気候変動への適応をチャンスに！ 北海道適応ビジネスポータルサイト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの連携体制を運用し、本道の適応の取組を推進(WGとしての活動は完了)</li> </ul>
適応をチャンスと捉えた事業の創出や道内誘致の検討	適応品種・栽培技術や本社機能の移転・ワーケーションなど、本道の強みを活かした適応の道内外へのPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>「適応ビジネスパッケージ」と「PR方法」を整理</li> <li>「<b>適応ビジネスポータルサイト</b>」の取りまとめ</li> </ul>  <p>図 ポータルサイトイメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイトを充実させるとともに、道内外でのPRを進める(WGとしての活動は完了)</li> </ul>

完了

## 3. 令和4年度検討事項(案)

PTテーマ	WG検討事項
<b>展開</b> 地域の特性を活かした再生可能エネルギーの <b>利活用促進</b> に向けた連携	<b>展開</b> 再生可能エネルギー由来の <b>電気・熱の利活用</b> をいかに <b>促進</b> するか
道産木材の活用と住宅のゼロエネルギー化	道産材を建材として活用、未利用材をエネルギー源として活用した北方型住宅ゼロカーボンモデルの開発
道有施設の脱炭素化	<b>展開</b> <b>実行計画の目標達成に向けた施設整備の基準の検討</b>
庁舎運用における更なるCO2削減、職員の行動変容	節電効果の高い施設管理手法の検討、節電のための職員行動変容の検証
	次世代公用車の導入手法検討

<b>新規</b> 道民参加による気候変動情報の収集・分析及び理解の <b>促進</b>	<b>新規</b> 地域における <b>ワークショップ</b> や <b>文献調査及び科学的分析や情報共有の手法検討</b>
---	---